



重大NEWS

1講座とると

2講座目 無料!

組み合わせ自由!

速読 国語力太郎、速読聴英語、新国語講座、思考力講座、速読解・思考力講座を受講していただくと、1講座分の受講料で2講座受講ができるようになります。組み合わせは自由!!
ご希望の場合は各校舎までご連絡ください。ご不明な点もございましたら、ご気楽にご連絡ください。

速く正確に読み解く力を鍛える

速読解力講座

速読 国語力太郎

Point 「読む」と「読み解く」は大違い!

文章をすらすら「読む」ことができたとしても、そこで述べられていることを正しく理解し、内容を把握できているとは限りません。文章を「読み解く」とは、言葉の意味や働き、文法などをふまえて、文章の構造を正しくつかみ、内容を理解することなのです。近年、このような基礎的な読解力が低いために、教科書レベルの文章を正しく読んでいない生徒が多くいるという調査結果も出ています。

処理能力UP

受験当日に実力を発揮できる!

読書速度が速いほど処理能力も高くなり、試験時間を有効的に使うことができます。時間にも余裕が持てるので、精神的にも落ち着くことができ、ケアレスミスを防ぐことができます。

平均29年度 大学入試センター試験問題 約25,110文字(標準)	読書速度500文字/分 試験時間 80分	読書速度1500文字/分 試験時間 80分
	読50分 読30分 18分	読17分 読48分 15分

これまで全試験において、試験時間全体の約6割が「解く」のに必要な時間とされています。

学習効率UP

全教科の学習をより効果的に!

受験生に限らず、学習で重要なのは反復による記憶です。速読はこの反復学習に高い効果を発揮します。読書速度が3倍になれば、1時間で1回しか読めなかったテキストが3回読めるようになります。学習量の蓄積と定着にもつながります。

平均読書速度 約400~600文字/分

入試対策! 英検対策に!

速読聴英語

英文読解トレーニング

Point 文頭から英語を理解する力を鍛える

これからの英語教育や、入試対策に対応するための「読む力」と「聴く力」を鍛えます。英文を前から理解するためのリーディングとリスニングの2技能に特化したトレーニングで、英語長文読解力を身につけます。英文を速く読むコツは、意味のかたまりを意識して読む「スラッシュリーディング」とたくさんの英文に触れることです。速読トレーニングもあるのでリスニング対策にもオススメです!

長文英語を得意にする! 英語に「慣れる」2つの秘訣

① 意味のかたまりから読み進める「スラッシュリーディング」を訓練します。意味の頭より先に前から読み進める「スラッシュリーディング」を訓練します。

② 意味のかたまりごとに読んでいる「Welcome aboard! the Jungle Club」を訓練します。

③ 意味のかたまりごとに読んでいる「Welcome aboard! the Jungle Club」を訓練します。

④ たくさんの英文に、読む・聴くで慣れる。言葉が話したり、書いたりするためには、たくさんの語彙をインプットすることが必要です。その量が多いほど、アウトプットの時、様々な伝え方ができます。

英語教育と高校入試

中学で1000語以上増加、入試は長文化
英語が小学校から教科化され、中学でも進度が前倒しになるなど、学習環境が大きく変わっています。高校入試でも、これまでの文法重視の問題から、「文章量や出題数が増加」「英語の力を総合的に見る」といった傾向が見られます。

小・中・高で学ぶ単語数	4級程度まで 単語の増加	約2500単語
単語量	1600~1800	1800以上
単語量	600~700	1800以上

小学校5・6年生 (国語7500語程度)
中学校 (国語12000語程度)
高校 (国語18000語程度)

語彙・文法・論理力を鍛える

新国語講座

算数脳を育み考え抜く力を鍛える

思考力講座

速く正確に読み解く力 算数脳を育み考え抜く力

速読解・思考力講座

Point すべての教科で必要となる、語彙・文法・論理力を鍛える

Point 論理的思考につながる、算数脳を育み考え抜く力を鍛える

Point 「テスト」や「新入試」に「もっと役に立つ」速読トレーニング

近年のテスト・入試では、国語だけではなく、算数や社会でも長文や図表の読解が多く出題されます。しかし、知らないうちに「流し読み」をし、文章を正しく読んでいないかもしれません。すべての教科で必要となる読解力を鍛えるために、語彙・文法・論理力を鍛えます。

思考力とは、問題解決の過程を考え、最適な選択肢を判断する力、これからの社会で活躍する子ども達にこそ大切な力です。物事をさまざまな角度から見て考えをまとめる力、自分の意見を論理的に説明できる力をトレーニングで伸ばしていきます。

入試改革や学習指導要領の改訂を通じて、「読解力」「思考力」を重視する方向へ変化しています。「知識がある」というだけではなく、「文章や資料を速く正確に読み解く力」「物事を論理的に考え正解を導き出す力」が求められています。